

鳥取県 商工会だより

No.361

11

2017
November



鍵掛峠から望む奥大山(鳥取県江府町)

CONTENTS

- 商工会とっとり物産フェア 2
- 商工NAVI畑 広島風お好み焼きふじ(八頭町商工会) 3
- 東部・中部・西部センターコーナー 4~6
- 海外視察研修・知っ得コーナー 7
- 青年部・女性部コーナー 8
- 鳥大情報室 9



自慢の味を首都圏へ！ ～商工会物産フェアを開催～

首都圏での地域産品の販路拡大と情報発信及び商品のマーケット調査を目的に、とっとり・おかやま新橋館（東京・新橋）にて、商工会「とっとり物産フェア」を、10月2日から5日にかけて開催しました。

同物産フェアには、鳥取県商工会連合会が認証する地域産品「とっとり自慢」の認証事業者である、梨・筋百年さんこうえん、(有)アトラス（かわはら市場）、自然薯屋おおえの3社が、とっとりおかやま新橋館1階のショップ入り口スペースにて4日間入れ替わりで出展。県特産の二十世紀梨や自然薯を中心とした加工品や菓子等、自慢の味を取り揃え、商品陳列から試食等それぞれ工夫を凝らし来場者へアピールしました。

また、今回は出展者の商品に対する首都圏消費者の意見を聞くため、商品モニターアンケートを実施。実際に商品を試食してもらい、商品の味やパッケージの印象、価格など評価していただきました。アンケート結果を集計し、分析を通じて首都圏でのニーズを把握するとともに、今後の商品開発・商品ブラッシュアップに活かしていきます。

4日間で約1500人が来場し、出展者からは「自社商品を直接説明でき、PRに繋がった」「商品に対する首都圏のお客様の声を聞くことができた」「今後の商品改良や販路開拓に活かしていきたい」といった声を聞くことができました。

とっとり・おかやま新橋館は、9月12日に来館者が延べ150万人を突破し、同月28日には開業3周年を迎え、さまざまな記念イベントが開催されました。首都圏では地域の特産品を手軽に楽しめるアンテナショップへの関心が高まっております、ますますの発展が期待されています。

商工会では、安心・安全な食を求める首都圏のお客様へ、県内会員事業者の商品が魅力ある商品として選んでいただけるよう、アンテナショップを通じて販路拡大に取り組んでいます。

出展者募集中！

やまぐち・とっとり物産展

広島県商工会連合会が運営する「ひろしま夢ぷらざ」にて、山口県商工会連合会と合同の物産展を開催します。出展者による対面販売並びに委託販売を行う出展者を募集しています。ひろしま夢ぷらざは、広島市の中心部・本通り商店街にあり、入場者1日平均6千人の集客力があるアンテナショップです。自社の商品PRに、ぜひ出展をご検討ください。

- 期 間：平成30年1月18日（木）～23日（火）：対面販売 ※1社最大2日間まで
平成30年1月11日（木）～23日（火）：委託販売
- 会 場：ひろしま夢ぷらざ（広島市中区本通8-28）
- 募集期限：11月16日（木）
- 申 込：本会経営企画課または各支援センター・商工会までお問合せください。



今回のテーマ：創業

キッチンカーで おいしさと 元気を地元へ！

広島風お好み焼きふじ
(八頭町商工会)

今回は、八頭郡八頭町の「広島風お好み焼きふじ」取材しました。

同事業所は代表の藤田佑介氏が、大学時代にお好み焼き店で働いていた経験を生かし、今年5月に創業。キッチンカーを使って、鳥取県では珍しい広島風お好み焼きを調理販売しています。



味もボリュームも満点の広島風お好み焼き！
出来立てが食べられます。

地域密着で地元を

都会への人口流出や少子高齢化などの影響で、地方の賑わいが薄まりつつある昨今。自身の地元である八頭町につ

いてもその影響を肌で感じていた藤田氏は、飲食の面で少しでも活気を取り戻したいと、事業を開始されました。



飲食店の選択肢を1つでも多くして、
地元を盛り上げたいと語る藤田氏

「車による移動販売は、どこへでも出向いて行けるのが強み。でも、地元を盛り上げたいという気持ちで始めたので、普段は主に国道29号線沿いを拠点にしています」と話した藤田氏。その言葉どおり、やずふれあい市場、物産館みかど、八東、若桜の道の駅の計4か所を拠点に、曜日ごとに場所を変え、地域密着で営業をされています。

「主婦や家族連れが主な客層で、毎週末来てくださる方もいます。『おいしかったよ、頑張ってるね』とよく声をかけていただき、地域に支えられていることを実感して日々営業しています」と笑顔で語られました。

課題を乗り越え創業

しかし、順調に見える事業も、創業

にあたっては苦労もあったと言います。

「苦労したのは資金調達。キッチンカーや車内設備の購入に必要となる金額が大きく、一番の課題となりました」と当時を振り返った藤田氏。創業者向けのセミナーに参加し作成していた事業計画書を、金融機関からのスムーズな借入へとつなげるため、東部センターへ相談し改善に乗り出しました。

センターとは、メニュー構成や、当時確定していなかった営業場所などについて協議し、収益根拠を具体化させたと言います。客観性を持たせた事業計画書へとブラッシュアップできたことで、スムーズに融資を受けることができ、創業へつなげることができたのです。



事業計画書のブラッシュアップでスムーズな
資金調達を実現。設備も万全です！

今後は県内全域にも活気を

創業から半年近く経った現在では、味やキッチンカーでの販売が話題となり、県内各所からイベント出店の話が

多く寄せられているとのこと。「地元を盛り上げようと始めた事業ですが、今では県内の至る所から声をかけていただけるようになっていきます。地元メインを維持しつつ、要望があればイベントにも積極的に参加していきたいです」と、今後の意気込みを語られました。

キッチンカーでどこへでも行けるという大きな利点を生かし、八頭郡はもちろん、今後は県内の多くの方が、広島風お好み焼きふじのファンになっていくことでしょう。

企業データ

広島風お好み焼きふじ

住所：八頭郡八頭町桜ヶ丘1355-3
TEL：080-2923-4727
URL：<https://www.facebook.com/ekonomi.fuji.yazu/>



営業日程については、
facebookでご確認ください。

新事業展開のチャンスを掴む！

ビジネスチャンス交流会を開催

東部センターは、ビジネスチャンス交流会を8月29日にホテルモナークにて開催し、定員の100人を超える東部管内の事業者や関係機関等の参加がありました。

基調講演では、流通プランニング研究所の川上正人氏より、交流会は支援を必要とする側と提供する側の関係維持に有効であること、また、ひとの考え方を知り、成長できる場であることなど、交流会の意義と価値について説明がありました。

基調講演に続いて、「新事業展開で掴んだビジネスチャンスとは」をテーマに、実際に新事業に取り組むモルタルマジックの池原正樹氏と川上氏による対談を行いました。

池原氏は、新事業として取り組んでいる砂や火山灰などを活用した粉体加工事業が軌道に乗るまでの自らの経験を元に、事業機会を掴むまでの経緯とポイントを「まずは行動すること、そして困難と考える場面でも楽しむこと」など、ユーモアたっぷりに話されました。

最後のマッチング交流会では、「私が提供できること 私が求めているひと」をテーマに参加企業が相互の事業内容や考え方を知り、ビジネスパートナーを見つける場を提供しました。マッチングを



川上氏(上)と池原氏(下)の対談



メモを取り聞き入る参加者

希望する37企業によるプレゼンテーション、講師によるニーズの掘り起こしや名刺交換などを行い、参加者同士の交流を深めました。「同じ地域の事業者でも知っているようで知らない。でも、求めているひとは意外と近くにいる」ことを実感した交流会となりました。

ビジネスチャンス交流会をきっかけに新たな展開が動き出しています。東部センターは、今後も新たな需要の開拓に向けて引き続き支援していきます。

鳥 取 市 西 商 工 会

「西いなばの逸品」発表会



参加者でにぎわう会場

鳥取市西商工会は10月19日に特産品の試作品発表会を山紫苑(鳥取市鹿野町)にて開催しました。当日は開発者のうち3名が試作品のプレゼンテーションを行ったあと、約50種類の試作品を試食しました。

試作品には、地元産の生姜やワカメ、地酒の酒粕などを使用したおかずやスイーツが並び、参加者は、開発者の商品に込めた思いなどの説明を聞きながら試食を楽しんでいました。

鳥取市西商工会では、地域資源を掘り起こし、さらに磨きをかけた「西いなばの逸品」を誕生させる予定です。

経営計画作成

ゼミナール

将来の事業承継を見据える

東部センターと管内7商工会は、経営計画作成ゼミナールを10月20日と11月2日の2回にわたって開催しました。

ゼミナールには17事業所が参加。株式会社・コンサルティングの大山雅己氏を講師に、演習を中心として自社の魅力を再発見・再認識することで、10年先の自社のあり方や事業承継の準備を進め方について見識を広めました。

受講者からは、「円滑に事業承継を進めるためには、まず自社の強みや特長を



演習を中心として自社の魅力を再発見

しっかりと把握した上で経営計画を作るところからスタートすることが大切だと分かった」という感想が多くありました。事業承継に関する相談案件は、今後ますます増加することが予想されます。東部センター・商工会は、しっかりとニーズを把握しながら支援を進めます。

「とりそらたかく」 ブランド商品発表会

県中部地域一市四町が官民連携で進める、優れた商品を全国へ発信する「とりそらたかく」ブランド商品の発表会を、県市町の首長や一般消費者を招き、10月23日に倉吉未来中心で開催しました。

当日は、26事業所、54品目の商品が初披露された他、今後の販売先の紹介やとりそらたかく商品直売コーナー、地元小学生による鳥の絵展示コーナー、ガラポン抽選会等が行われ、にぎやかな発表会となりました。

また、10月27日、28日には、とっとりおみやげ館でも発表会を開催し、首都圏でもとりそらたかくブランドをPRしました。



初披露された商品(上)とにぎわう会場(下)

「2枚の計画書」から、 経営力をぐっと高める！

中部センターは、経営力向上計画策定セミナーを9月6日に開催し、14名が参加しました。

中小企業等経営強化法に基づき、経営力向上のための人材育成・財務管理・設備投資などの取り組みを記載した2枚の「経営力向上計画」を申請し、認定されることで、固定資産税の軽減措置や各種金融支援が受けられます。

講師の東川仁氏は、計画策定のポイントとして、①売上高増加率(売上が持続できているか)、②営業利益率(収益性が向上しているか)、③労働生産性(生産性が向上しているか)の3つの指標を上げ、具体的な計画書の作成方法について指導されました。

経営力向上計画は、今後の企業の持続発展に必要なツールです。鳥取県版経営革新の取り組みにも必要な計画となっており、中部センターは、管内企業に計画策定の支援を推進していきます。



湯梨浜町商工会

湯梨浜町から元気を発信

ゆりはま大漁まつりを開催



毎年お馴染みの魚特売に多くの方がつめかけました

湯梨浜町商工会は、10月1日、泊漁港にて心地よい秋空のもと、ゆりはま大漁まつりを開催しました。毎年お馴染みの魚特売をはじめ、地元のグルメが並ぶ屋台村や、漁船の乗船体験、ステージイベント等がまつりを盛り上げました。

自衛隊車両や消防車両、ドローンの展示・プッチャ操縦体験では、子どもから大人まで楽しめる内容となりました。

まつりを通して、湯梨浜町から元気を発信し、中部地震からの復興をPRすることができました。

三朝町商工会

初心者でもわかる!できる! POPで売上倍増を目指そう

三朝町商工会は、「すごいPOPの書き方教えますスペシャル!!」を10月6日に開催しました。「本当に効果のあるPOPとは?」「今店内に設置しているPOPで大丈夫?」など、日頃から事業所が抱える不安を解消するため、増沢美沙緒氏を講師に迎えました。

参加者は自社のパンフレットや商品の写真などを持参し、研修にのぞみました。文字やイラストに対する苦手意識を楽しさに変えることができ、販促力拡大のヒントが満載のセミナーとなりました。



真剣な表情で作成中



販促につながるPOPが完成



西部

商工会産業支援センター

コーナー

創業セミナー・スクール開催

西部センターは、D&Mソリューション高橋志織氏を講師に招き、9月26日に創業セミナーを開催しました。

当日は、地域起業家の成功事例紹介や起業と成功のポイントについて講義があり、参加者は熱心に聞き入っていました。

創業セミナーに引き続き、9月30日から11月3日の各土曜日・祝日に創業スクールを開催しました。スクールでは、創業の実態把握や自己分析を行い、事例を交えながら創業のやりがいを学ぶ



女性の参加が半数を占めました

とともに、独自のテキストを使って、ビジネスの基本の他、効果的な販売促進方法や営業戦略から、開業に向けたビジネスプランの作成について学びました。

また、今後は創業スクールの受講者を中心とした個別相談会にて、実現可能性の高い、より具体的な事業計画の作成に向け、継続的な支援を予定しています。

西部センター及び管内商工会は、創業スクール終了後も、みなさまの創業と経営の成功に向けて、支援を継続していきます。



過去最高の32名で創業スクールを開校

南部町商工会

ヒント プロジェクト H.I.N.T Project 町づくり講演会



県内外から地域に人を呼びよせる活動から学ぶ

南部町商工会は、古田琢也氏を講師に招き、H.I.N.T Project 町づくり講演会を開催しました。

古田氏は、八頭町隼地区で自らの出身地を活性化しようと、仲間と共にコミュニティスペースやゲストハウスを中心に情報発信し、県内外から地域に人を呼び寄せる活動を行っています。「大好きな仲間と町の未来を自分たちの手でつくる!」をテーマに活動する古田氏は、「どんな場所でもアイデアと情熱そして仲間がいれば未来はつくれる!」と語られました。

古田氏の講演を参考に、地元の人とのコミュニケーションを大切にしたい取り組みを南部町でも実践していきます。

米子日吉津商工会

淀江町の魅力を地区内外に発信 よどえ夢まつりを開催



プロも驚く出来栄え、青年部・女性部バザー

「第34回よどえ夢まつり」が10月15日に米子市淀江文化センター駐車場で開催されました。

この祭は、淀江町の産業及び伝統文化などの魅力を地区内外に発信することを目的として、商工会も一員となって協力しています。

当日は雨にも負けず、ステージイベントのほか、漁協の朝獲れ鮮魚の販売や地域グループによる餅つきなどが行われました。また、商工会会員が自慢の商品を販売、青年部と女性部がバザーを行うなど、商工会も一員となって来場者をもてなしました。

香港への海外展開支援へ

～役員海外視察研修～

役員等相互の交流および海外での事業展開等支援を目的に、香港視察研修を9月13日から16日までの4日間実施しました。

今回は、JETRO（日本貿易振興機構）およびJNTO（日本政府観光局）より香港の経済・観光情勢についてお聞きし、情報交換を行いました。

自由にビジネスを行うことができる市場として、香港に海外展開を目指す日本企業が増加しています。また、香港からの訪日トレン드가高まっている中、県内中小企業はいかにリスクを最小限にとどめ、ビジネスチャンスを広げることができるかが課題となります。

今後、JETRO等との経済交流を進め、香港をはじめとする中小企業の海外展開を支援していきます。

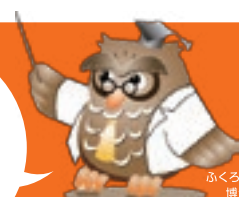


JETRO、JNTO、商工会3団体での意見交換

知得

知っていれば得をするかも…?!な情報をお届けします!

～今さら聞けない?! “インスタグラム”とは何?編～



最近テレビや雑誌で取り上げられる“インスタグラム”。「聞いたことはあるけど詳しくは知らない」「使用していないのでよく分からない」そんな方も多いのではないのでしょうか。そんな方のために“インスタグラム”について説明します!

◎世界で約8億人が利用するインスタグラム

Instagram（インスタグラム）とは、画像や動画を説明文とともに投稿し、登録者と共有する無料ソーシャルネットワーキングサービス・アプリのことで、世界での月間利用者数は約8億人にのぼり、日本国内でも2,000万人を突破しました。

登録者は気に入った投稿に「いいね!」を押したり、「お気に入り」に登録することができます。「いいね!」を多く集めることのできる場所や商品等は「インスタ映え」（インスタグラムをおしゃれに見せること・もの）と呼ばれ、メディアに取り上げられるなど話題となっています。

◎インスタグラムの特性と活用方法

インスタグラムはただ画像や動画を投稿するだけでなく、画像や動画に位置情報や商品名などのさまざまな情報を加えることができます。画像や動画に関連するキーワード（ハッシュタグ※）を加えること（タグ付け）で、情報を拡散しやすくなることができ、この仕組みを利用して自社の商品等のPRにインスタグラムを活用する企業も多く見られます。

情報の拡散力だけでなく、インスタグラムは無料で利用することができるため、従来のチラシのポスティングや新聞等への広告掲載等と違い、宣伝費用を抑えることができることも、企業が注目する理由の1つとなっています。

旅行業界ではインスタ映えする場所を巡るツアーを企画したり、飲食業ではキャラクターの使用やカラフルな色合い等でインスタ映えを意識した商品を開発するなどといった動きも見られます。

みなさんもぜひインスタグラムを自社のPRに活用してみたいかがでしょう。

※ハッシュタグ: #マークが頭に付いているキーワード。ハッシュタグを付与することで、登録者は関連した情報をまとめて検索・閲覧することができる。

インスタグラムイメージ図

位置情報: 実際の店舗名などを入力することもでき、クリックすると地図が表示される。



ハッシュタグ: クリックすると同じハッシュタグの付いた投稿が一覧で表示される。

税を考える週間

テーマ「くらしを支える税」

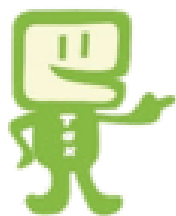
国税庁では、国民の皆様には租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくために、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、ホームページ等で様々な情報を提供しています。

お問い合わせ先

鳥取税務署 (0857) 22-2141
※音声ガイダンスに従い、「2」を選択してください。

詳しくは国税庁ホームページをご覧ください。

国税庁で検索



青年部

自社の発展と地域振興を目指して

中国四国ブロック商工会青年部交流会が9月29日に岡山市で開催され、鳥取県から総勢49名の部員が参加しました。

主張発表大会では、鳥取県代表の米田広美さんが「次世代に伝えたいこと」と題し、東京の有名テーマパークへの出店を機に直面した経営課題を、青年部員や商工会と力を合わせて乗り越えた経験を発表。「経営の成功こそが青年部活動の意義であり、この成功体験を次世代に伝えていくことが私の役目」と力強く主張され、見事優秀賞を受賞されました。

また記念講演会では、両備ホールディングス(株)代表取締役松田敏之氏から、若手経営者にとって必要な要素、考え方をとお話いただきました。

主張発表、記念講演ともに多くの気づきや学びのある非常に有意義な大会でした。



青年部の意義を堂々と発表し、見事優秀賞に輝いた米田さん

「求心力」を学ぶ！



リーダーに必要な「求心力」について語る佐藤氏

青年部員自らが学びたいことを企画し、運営まで行う「第1回次世代経営者カレッジ」を、10月18日に倉吉体育文化会館で開催。講師に広島県商工会青年部連合会第18代会長の佐藤大地氏を迎え、経営者・後継者にとって不可欠な「求心力」をテーマに講演いただきました。

講演では、広島県での青年部活動を、部員、部長、県青連役員、県青連会長の4つの時代に分け、自身が青年部員として、経営者としてどう意識が変わっていったかをお話いただきました。特に、会長時代に行われた中四国交流会広島大会で、中四国初となる1000人の集客を実現し大

成功を収めた一方、自社の経営においても同年に過去最高収益を叩き出したという話は、正に佐藤氏の求心力を物語る内容でした。研修後には参加者から「自分たちにもできると感じた」という声も上がり、非常に有意義な研修となりました。

第2回告知

『地域資源を生かしたブランドづくり』
〜青年部員が目指すべき地域活性化とは〜
11月14日(火)cafe SOURCE BANQUET

女性部

今後の女性部活動の

ヒントを学ぶ

中国四国ブロック商工会女性部交流会が9月7日、島根県松江市の島根県民会館にて開催されました。

主張発表大会では、鳥取県代表として光本みゑ子さん(琴浦町商工会女性部長)が発表し、優良賞を受賞。若い部員を中心にIT委員会を立ち上げて、苦手分野にも積極的に取り組む姿勢は、審査員からも高く評価されました。どの県も同様に部員の減少や高齢化に悩まされる中、他県の発表から今後の活動のヒントを得た参加者が多くいました。

基調講演では浄土宗尼僧・小林良正氏が「和顔愛語く柔らかな顔と優しい言葉」と題し講演。笑いの絶えない話の中から、生きる上での大切なことを学ぶことができました。



美しい花で溢れる
松江フォーゲルパークを視察

視覚的効果の高い

ブラックボードPOPに挑戦



クリスマスや正月など季節感を伝えるPOPの作り方を学ぶ参加者

「視覚的効果で集客・売上アップ！ブラックボードPOPセミナー」を9月29日に開催しました。

講師は前回の筆ペンPOPと同様、企業の販売促進POPの指導を行うデザインオフィス忠生の佐藤忠生氏。

まず、ブラックボードPOPが販売促進広告の中でも最も印象的である理由や、より効果的な活用方法について学びました。次に、実際にマーカーを使った文字の書き方や、効果的な色の使い方、飾りを使った季節感のあるPOPの作り方について、実践を交えながら習得しました。

参加者からは「ずっとこんなPOPが書きたかった。早速作ってみたい！」「基礎から楽しく学ぶことができた。お店だけでなく、イベントなどでも身につけたスキルを活用したい」といった声が多く聞かれました。

地域創生をめざした

実践型教育研究

～地域価値創造研究教育機構発足～

平成29年10月、鳥取大学に地域価値創造研究教育機構が発足しました。各学部で行ってきた地域創生をめざす研究教育を全学的に展開するための中核組織です。

大学の研究者や学生と周辺地域のさまざまな団体や住民が一体で行う地域参加型研究により、地域の課題を発掘整理し、解決に取り組みます。

また、地域課題の解決策などを実践的に学ぶ課題解決型学習を推進し、地域創生の担い手となる人材を育成します。

そうした活動を推進するため、地域価値創造研究教育機構には次の5室を設けるほか、鳥取大学の広報センター内に「コミュニティ・デザイン・ラボ（CDL）」を設置し、さまざまな地域協働取組の拠点とします。



CDLの様子

地域価値創造研究教育機構

室	機能
地域参加型研究推進室	人口希薄化地域における地域創生をめざした地域参加型研究を推進します。
企画管理室	業務企画・管理運営・各室業務の総括支援を行います。
地域連携PBL推進室	地域に関する課題解決型学習の教育を推進します。
エクステンション推進室	大学としての地域教育・社会人教育を推進します。
地(知)の拠点大学による地方創生推進室	地域志向科目の開設や地域人材の定着を促進します。

鳥取大学協定5町連携事業事例

町	内容
智頭町	「智頭町智頭宿周辺における歴史的な自然文化遺産『生きた博物館』を活用した情報発信」などに取り組んでいます。
日南町	「オオハングソウの抑制と地域資源の維持・有効活用」や「シミュレーションを用いた小・中学校から始める認知症ケア理解」などを進めています。
大山町	「大山エキナセアの有効利用を志向した生生活活性物質の探索」などに取り組んでいます。
琴浦町	「芝収穫機の開発・製作」や「生薬・薬草研究」などを行っています。
南部町	良食味米生産に向けた水田土壌特性評価に取り組む「米の食味向上に関する調査研究」などを推進しています。



「オオハングソウの抑制と地域資源の維持・有効活用」の成果報告（平成28年11月21日）



琴浦町芝収穫機の完成報告会（平成29年6月27日）

地域に密着した

教育研究の取組み

～鳥取大学協定5町連携事業～

鳥取大学では地元自治体と連携し、地域に密着した教育研究活動に積極的に取り組んでいます。

特に県内の智頭町、日南町、大山町、琴浦町、南部町の5町とは、大学の教育研究が各町の地域活性化に資するよう協定を締結して、相互に連携・協力を深め、次のような取り組みを進めています。

平成30年4月1日から障害者の法定雇用率が引き上げになります！

すべての事業主には、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があります。

事業主区分	法定雇用率	
	現行	平成30年4月1日以降
民間企業	2.0%	2.2%
国、地方公共団体等	2.3%	2.5%
都道府県等の教育委員会	2.2%	2.4%

また、あわせて下記の2点についてもご注意ください。

- 留意点1：対象となる事業主の範囲が、現行の従業員50人以上から45.5人以上に広がります。また、その事業主には、以下の義務があります。
 - ・毎年6月1日時点の障害者雇用状況をハローワークに報告しなければなりません。
 - ・障害者の雇用の促進と継続を図るための「障害者雇用推進者」を選任するよう努めなければなりません。
- 留意点2：平成33年4月までには、更に0.1%引き上げとなります。

退職金の準備を中小機構がお手伝いします

安心 安全 国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、不安がある

自分で積み増しするには、どんなものがあるの？

制度の特長

① 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

② 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

③ 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

契約者貸付けの利用が可能
契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時に事業資金等の貸付けが受けられます。

共済金の受給権は差押禁止
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください



中小機構

TEL:050-5541-7171
(共済相談室)

小規模企業共済

検索

www.smrj.go.jp/skyosai

全国商工会経営者休業補償制度

所得補償保険

募集中

商工会の会員およびその従業員の方が、病気やケガによる就業不能で働けない間、最長1年間月々の所得を補償します。

(支払対象外期間(保険金をお支払いしない期間)7日間)

■制度のメリット

- 全国団体の契約のため保険料は団体割引30%、過去の損害率による割引5%と割安です。
- 家事に従事されている方もご加入いただけます。
- ※提供するサービスはパンフレットをご覧ください。

■保険期間

- 新規加入の場合 平成29年10月1日午後4時～平成30年10月1日午後4時
- 中途加入の場合 毎月1日午後4時の保険始期～平成30年10月1日午後4時

(ご加入者から、脱退(解約)または変更のお申し出がない限り、当団体は、今年度の募集パンフレット等に記載の保険料・補償内容で引受保険会社に保険契約を申し込みますので、変更をされる方のみ加入依頼書をご提出ください。更新時には保険料が年齢等により変更となったり、健康状態や年齢等により保険会社側からご加入をお断りさせていただく場合がありますので、ご了承ください。)

■お問い合わせは

引受保険会社
損保ジャパン日本興亜株式会社

- 東・中部地区
担当支社 ▶ 鳥取支社 鳥取市今町2-112 TEL:0857-23-3301(平日9時～17時)
- 西部地区
担当支社 ▶ 米子支社 米子市西福原2-1-1 TEL:0859-33-7661(平日9時～17時)

上記案内は概要の説明ですので、詳しい内容については、取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

(SJK17-12550、2017年10月4日作成)

あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の 商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

毎月ご加入
いただけます!!



けが・病気・がんに
しっかり備える



大切な、商工会会員の皆さま、だからこそ
加入できる特別な制度です!

共済(補償)期間

2017年11月1日午後4時から
2018年11月1日午後4時まで
中途加入の場合、毎月1日午前0時から
2018年11月1日午後4時まで

ご加入できる方

商工会の会員とその家族、会員の従業員とその家族、
商工会・連合会の役員とその家族であって健康な
方が対象となります。

(「病気」の補償および「トータル」「がん」補償・「シンプル」「がん」補
償の場合、健康状態に関する告知義務があります。)

※ただし2017年11月1日時点での満年齢が満6歳以上満80歳以下(シ
ニア医療特約・シニアトータル「がん」プラン・シニアシンプル「がん」プ
ランでは新規ご加入は満74歳以下の方に限ります。)

「家族」とは、①配偶者、父母、子、②同居かつ扶養している祖父母・兄弟姉
妹・孫、③配偶者の父母をいいます。

メディカルアシストをご利用いただけます!

24時間365日、お電話1本で「病気やけがの
お悩み」や「緊急時の対応」等に無料で応じます。

※メディカルアシストは、東京海上日動グループ会社を通じてご提供します。
※「けが」の補償の傷害ラインプランとシニア傷害プランはご利用対象外です。

お問合せ・資料請求はご加入の商工会まで

※一部の商工会においては取り扱っていない
場合があります。

このチラシは福祉共済および東京海上日動火災保険(株)の団体総合生活保険(医療補償基本特約・がん補償基本特約)・総合生活保険(個人賠償責任補償)の概要についてご紹介したものです。
ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ご加入の商工会までお問い合わせください。

取扱代理店: 株式会社ふるさとサービス
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館10F TEL:03-3214-5710

引受保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社 担当課: 広域法人部法人第一課
東京都千代田区三番町6-4 TEL:03-3515-4147

2017年8月作成 17-T04455

街の社長さんを応援します。

日本フルハップ

イイヨ フルハップ 会費のお取扱いは
☎ 0120-14-2682 信用金庫
[土、日、祝日は除く9:00~17:30]

経営者年金

拠出型企業年金保険

中国地区しんきん経営者協議会
TEL 082-240-1165

中国しんきん **VISA**
ビジネスカード

中国しんきんカード
TEL 082-243-1181

みんなのために、ひとりのために



幸せはこぶマイバンク
よなごしんきん
地域のオンリーワンバンクへ!!
米子市東福原2丁目5-1

人に街に、心地よい風を...
倉吉信用金庫
KURAYOSHI SHINKIN BANK
倉吉市昭和町1-60

ふれあい大好き
鳥取信用金庫
鳥取市栄町645



これから起業創業される方を融資で応援!

創業者向けビジネスライン[スタート型]

開業当初から最大28カ月は、カードローン形式で資金繰りに柔軟対応。
ご融資金額 最大1,000万円まで 何かとお金が必要な創業当初を応援します。

ご利用特典 ●クラウド会計ソフトfreeの一定期間無料利用
●(株)ビザスクのコンサルティングサービスの利用割引 など

創業するなら、サポート充実のとりにぎへご相談ください。

詳細はとりぎん窓口またはホームページをご覧ください。

創業支援デスク

☎ 0120-968-859
平日9:00~17:00

TOTTORI BANK

青い鳥の銀行です。
鳥取銀行

安心の大型補償 & 商工会会員限定 集団団体割引

西日本自動車共済の(経済産業局認可)自動車共済

★大型補償「無制限」

- 対人賠償共済・対物賠償共済
- 人身傷害共済

★示談交渉サービス

- 対人賠償共済・対物賠償共済

★団体割引25%

- 鳥取県商工会会員のお車のほか、役員・従業員(同居の親族を含みます)が所有されるお車に適用

※団体割引25%は、共済契約の始期日が平成29年10月1日から平成30年9月30日までのご契約に適用されます。



共済の詳細・お見積り・お申込みは、最寄りの商工会 まで!

(引受組合)



西日本自動車共済協同組合

取扱代理所: 鳥取県商工会連合会

TEL: (0857) 31-5555

鳥取県支部: 鳥取市田島665

TEL: (0857) 27-5210

本部: 福岡市博多区東比恵2-15-25

TEL: (092) 441-5901

NJ710.1710.0177.180930

企業のみなさまへ...

公益財団法人 産業雇用安定センターは、経済・産業団体と厚生労働省の協力により設立され、再就職支援(無料)を行っております。

増員・補充などで、「人材募集」をされるとき...。
雇用調整などで、「人材の送り出し」をされるとき...。

厳しい就職環境において、より多くの求人情報を入手することが再就職の早道です。
面接機会を得るためにも、当事務所のご利用をオススメいたします。

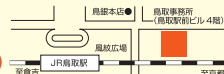
こんな時、
ご連絡・
ご相談ください。



公益財団法人 **産業雇用安定センター** 鳥取事務所
〒680-0835 鳥取市東品治町102 鳥取駅前ビル4階

TEL.0857-20-1500 FAX.0857-20-1502

ご利用時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は除く)



URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

東部センター管内

- 鳥取市西商工会
 - ・(株)北島物流(運送業)
島尾 勝
 - ・(有)徳吉薬局(小売業)
徳吉 公司
 - ・(株)AKARI BREWING
(ビール醸造販売)
鹿兒島 敦
- 八頭町商工会
 - ・(株)エストリゼール(小売業)
東田 悦生
 - ・(株)シーセブンハヤブサ(不動産業)
古田 琢也
 - ・行政書士薄竹法務事務所
(行政書士)
薄竹 善道
 - ・ナカムラ電工(電気工事業)
中村 隆則
 - ・鍼灸按摩マッサージ院 つむぎ
(鍼灸按摩マッサージ業)
富山 絵美
 - ・(有)かぐや(建設業)
土橋 秀美
- 鳥取市南商工会
 - ・(株)KIDO(飲食業)
城戸 博宣

- ・シエスタ鳥取店
(カイロプラクティック)
漆原 リカ
- ・サニーサービス(株)
(環境コンサルティング)
春名 英介
- ・マルサンアイ鳥取(株)(製造業)
兼子 明
- ・SUNIN製炭工業(株)(製造業)
山根 忠
- ・(株)ごきげん倶楽部(飲食業)
平井 正泰

中部センター管内

- 湯梨浜町商工会
 - ・松山農園(小売業)
松山 俊男
 - ・(同)ローディーネット
(情報処理・提供サービス業)
津村 佳英
 - ・らくだ整骨院(整骨院)
渡瀬 雄太
 - ・徳田 匡博(建築業)
徳田 匡博
 - ・居酒屋 なかちゃん(飲食業)
中村 征記
 - ・Ange(アンジュ)(飲食業)
長田 雄一

- ・ヤマダ建築(建築業)
山田 浩匡
- 三朝町商工会
 - ・パン工房papan
(パン製造販売業)
野上 隆治
- 北栄町商工会
 - ・SUNDAY(飲食業)
高松 香奈
 - ・シーライフ(建設業)
清水 直樹
 - ・石賀 嵩明(保険業)
石賀 嵩明
 - ・もぐも(小売業)
小谷 侑也
 - ・(株)いとう緑化(造園業)
伊藤 幸二

西部センター管内

- 大山町商工会
 - ・谷野 香代子
(Webデザイナー)
 - ・(有)ロッヂサノ(旅館業)
佐野 カ子
 - ・ごだい(たい焼き製造販売)
福本 まさ江

(敬称略)

商工会員募集!

わたしには夢がある。
動き出そう! 商工会と。

ぜひ商工会を
使ってください!



商工会は経営に関する支援を行っています。

- ★起業したい! ★専門家に相談したい!
- ★販路を広げたい! ★とにかくこの状況を改善したい!
- ★経営を向上させたい! などお考えの方...

- そのほか
- 法律相談 ●経営上必要な資金調達 ●経営診断など
 - 施策の普及 ●労働保険事務代行 ●経理の効率化
もお受けします。
 - 貯蓄共済 ●福祉共済 ●自動車共済など
各種共済も取り扱っています。

入会企業の声



事業所データ

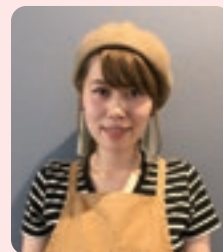
SUNDAY

住所:倉吉市上井町2丁目8-9
TEL:0858-26-3744
営業時間:11:00~17:00

「サンデー」という名前の通り、休日をごす気持ちでぜひお越しください。写真映える空間と料理でお待ちしております。

私が商工会を知ったのは、国の創業補助金申請の支援をしていただいたのがきっかけでした。それ以降も分からない事を親身になって教えていただいたのが印象的です。私は倉吉市で飲食店を営んでおり、「倉吉には無いものを発信していく」をコンセプトに、月替わりでメニューを「新する」など、お客様が飽きないように工夫しています。今月のおすすめは梅チキンと和風キーマカレーのあいがけで、他にもスパイスを使用したスイーツもおすすめです。

平成29年6月1日に、倉吉市上井町で創業しました。



SUNDAY
代表

高松 香奈 氏
(北栄町商工会)

地元に無いものを発信